

DV(ドメスティック・バイオレンス)は子どもへの虐待にもなります

人権のひろば～人権・同和教育シリーズ～



DVとは、配偶者や恋人など親密な関係にある、またはあった人から振るわれる暴力のことを言います。殴る、蹴るはもちろんのこと、大声で怒鳴る、殴るふりをして脅す、友人などの付き合いを制限する、電話やメールをチェックする、生活費を渡さない、仕事をさせない、性的な行為を強要する、避妊に協力しないなど、これらも全てDVにあたります。

【DVは子どもにも深刻な影響をあたえます】

平成24年2月に行った「配偶者等からの暴力に関する市民意識調査」

によると、子どもの頃に親のDVを何度も見た人のうち、51.9%の人が自分自身もDVの加害者となっており、将来にわたって暴力が連鎖していることがうかがえます。

また、親の暴力を見たり、聞いたりした子どもの多くが、DVを行う親に不信感を持ったり、両親の争いを自分の責任に感じることもあります。

このほか、頭痛や腹痛といった症状を起こしたり、不眠や悪夢を見たりするなど、子どもに心理的な傷を負わせるDVは子どもへの虐待と言えます。

【ひとりで悩まず相談を】

男女共同参画センターでは、DVをはじめ女性のさまざまな悩みについて、電話や面接での相談を行っています。ひとりで悩みを抱え込まず、ぜひご相談ください。



パープルリボンは女性に対する暴力根絶運動のシンボルマークです

問い合わせ先
男女共同参画課
 (☎354-8331 FAX354-8339)
女性相談(はもりあ四日市☎354-8335)

表紙こぼれ話

今回は、第43回市民スポーツフェスタにお邪魔して、スポーツ推進委員とグラウンド・ゴルフの競技に参加された市民の皆さんに表紙を飾っていただきました。スポーツ推進委員協議会会長と副会長にお話を聞きました。



■会長 馬場 宏さん
 イベント参加者の笑顔を見るとやっつけてよかったと感じます。



■副会長 伊藤敏信さん
 幅広い年代で楽しめるスポーツをもっと普及させたいです。



■副会長 前田宏之さん
 ファミリーバドミントンをもっと普及させたいです。

今年度の表紙のテーマは、「スポーツで頑張る市民」です。全12回さまざまな種目のスポーツに打ち込む人々をご紹介します。



スポーツ推進委員は市内に90人います。推進委員みんなで、地域スポーツ・生涯スポーツを四日市全体に普及させ、健康の維持・増進をはかるため、さまざまなスポーツイベントを開催しています。来年1月にはスポーツ推進委員主催事業としてファミリーバドミントン大会をするので、たくさんの人に参加してもらいたいということでした。

取材後記

スポーツフェスタの参加者はみんな笑顔で、スポーツを楽しんでいるということをとっても感じました。「誰でも手軽に楽しめるスポーツを探し、普及させることは難しいけど、とてもやりがいを感じる」とのこと。皆さんもスポーツを始めてみませんか。

問い合わせ先
広報広聴課
 (☎354-8244 FAX354-3974)

有料広告掲載欄

CTYのインターネットはお得で便利で安心です!!!

お得 のりかえキャンペーン

他社プロバイダからの乗り換えなら、初期工事費が無料、さらに利用料が最大3ヶ月間無料となります。また、プロバイダの契約が不要です。

便利 おうちWi-Fi 0円

家中をWi-Fiでつないで無線環境を整えれば、インターネットがもっと便利に!
 ※CTYインターネットの最低利用期間2年をお約束頂いた方が対象です。

安心 安心なサポート体制

地域密着の安心サポート体制でパソコンに不慣れな方にも安心。パソコン関連機器などの設定やサポートも「安心レスキュー」におまかせください!

CTY 0120-30-6500 9:00～19:00(日曜・祝日除く)

本欄は広告であり、広告の内容に関する一切の責任は広告主に帰属します。

■人口 313,915人 [9月末日現在(-708)] ■火災件数 5件 [9月分(-2)] ■交通事故件数 1,014件 [9月分(+95)] (前年比)